

(資料1) 策定の趣旨と位置づけ

1 策定の趣旨

帯広市では、平成22年に「第六期帯広市総合計画」の策定に併せ、「おびひろ上下水道ビジョン」を策定し、安心して安定したおいしい水道水の供給や、安全で確実な下水道処理のほか、災害にも強い上下水道を目標に掲げ、それらを踏まえた取組を行ってまいりました。

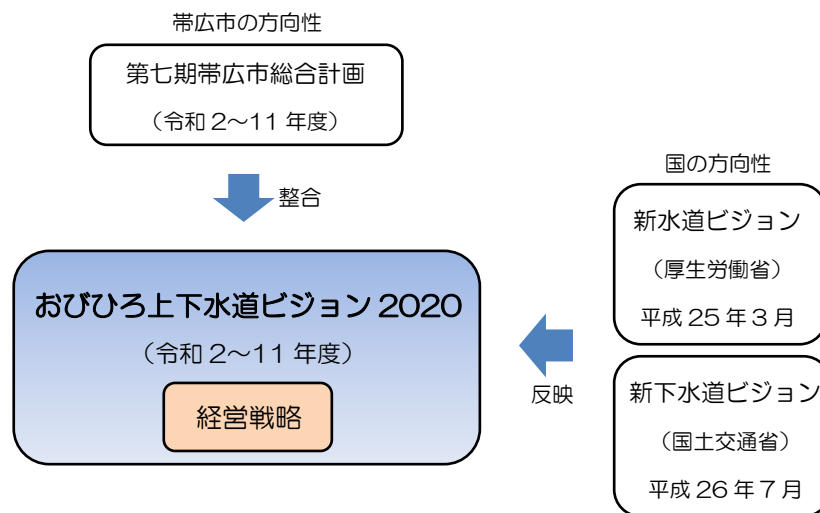
現ビジョンの計画期間が令和元年度で終了するため、「第七期帯広市総合計画」策定に併せ、国の計画等の趣旨を踏まえた新たな時代に向けての経営指針として、「おびひろ上下水道ビジョン2020」を策定するものです。

2 位置付け

本ビジョンは、国から示された「新水道ビジョン」、「新下水道ビジョン」の考え方を踏まえ、本市の上位計画である「第七期帯広市総合計画」と整合性を図り、今後の上下水道事業の将来の方向性を示す基本的な指針として策定するものです。

なお、本ビジョンは、総務省が公営企業に策定を求めている中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を盛り込み、策定するものです。

【図表1】ビジョンの位置付け



3 計画期間

本ビジョンの計画期間は、令和2年度（2020年度）から令和11年度（2029年度）までの10年間とします。